

なかとんべつ 町議会だより

Volume

203

平成30年11月26日発行



9月14日 平成30年度敬老会

第3回定例会議決された議案等	3
いきいきふるさと常任委員会報告、 第4回臨時会、第5回臨時会結果	4
私たちの一般質問	5
第6回臨時会、議員だより	8
平成29年度決算審査特別委員会	9
議会の動き・全道議員研修会報告・あとながき	12



第3回 定例会

平成30年第3回定例会が、9月5日から7日まで3日間の会期で開かれましたが、5日の審議を終了し、6日から開催される「決算審査特別委員会」の準備を進めたところで、6日早朝に発生した北海道胆振東部地震に伴う全道的な停電被害を受け、避難所の開設や水道施設の維持、酪農家の搾乳業務支援や全戸訪問による情報収集など、想定される障害に対する全職員の対応が必要となったことから、電気が全面復旧されるまで議会の開催を見送ることとしました。その結果、定例会は会期を2日残しながら自然閉会となったため、9月18日に改めて第6回臨時会を招集し、審議未了の議案について再提案し審議を行いました。また、本誌「議会だより」の発行もひと月遅れの11月発行となったことをお詫び申し上げます。

5日の定例会初日の報告で「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）に基づく健全化判断比率では、本町は平成29年度決算で実質公債費率が0.3%（健全化判断基準25.0%）と、着実に財政健全化が進んでおり、また、資金不足比率等の報告では、いずれの会計も資金不足が生じておらず、資金不足比率は算定されないと報告がありました。

町長の行政報告では、①平成30年度普通交付税について、昨年度の基準財政収入額の過大算定の影響により、3億5千万円が増額となったこと。②7月29日に知駒峠の道道で交通死亡事故が発生し、死亡事故ゼロの記録が1539日で終了したこと。③大崎上島町の7月豪雨による被災状況について報告がありました。教育長の教育行政報告では、①未来への挑戦「ハワイ英語研修」事業についての研修内容の報告、②認定こども園学校運営協議会の開催について報告がありました。

一般質問では、通告順に4議員が、本町が抱える諸問題について、町長に所見を質しました。

平成29年度一般会計ほか7会計の決算は、第6回臨時会において全議員で構成する「決算審査特別委員会」（宮崎泰宗委員長）に付託され、審査を行いすべて認定されました。

日程の最後には、「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」を発議し、全会一致で可決されました。

第3回定例会で 決まりました



議決された議案等

○議案第54号 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

国では、行政機関に係る申請、届け出などの手続きに関し、インターネットの活用を推進していることから、今後マイナンバーカードを活用した手続きを電子的に申請、届け出等の手続きができるよう条例を整備するもの。

○議案第55号 税条例（一部改正）

○議案第56号 一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ1億4千312万円を追加し、歳入歳出の総額は43億9千582万円に。

歳出では、畜産クラスター計画に位置付けられた経営体が行う事業施設の新設に対し、企業誘致促進事業の助成金として1億円、社会保障・税番号制度システム整備業務委託料185万円（総務費）、介護保険被保険者に対する敬老給付金338万円（民生費）、農業担い手育成事業の新規就農者経営自立安定補助金1千200万円（農林水産業費）、商工業事業継承支援補助金1千万円、ピンネシリ温泉厨房修繕172

万円、観光組織設立補助金170万円（商工費）、橋梁修繕事業150万円（土木費）、町民センター渡廊下解体工事261万円（教育費）、水道事業特別会計及び介護保険事業特別会計への繰出金138万円などを追加するもの。

○議案第57号 国民健康保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ120万円を追加し、歳入歳出の総額は2億8千290万円に。

歳出では、国民健康保険事務処理システム保守委託料26万円、退職被保険者還付加算金94万円などを追加するもの。

○議案第58号 国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額に変更は無いが、資本的収支既決予定額を3千180万円に。

資本的支出で管理人及び出張医住宅建設に伴う設計支援業務委託料729万円を計上するもの。

○議案第59号 水道事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ130万円を追加し、歳入歳出の総額は9千422万円に。

歳出では、施設修繕料130万円を追加するもの。

○議案第60号 介護保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ441万円を追加し、歳入歳出の総額は2億3千357万円に。

歳出では、介護保険事業に係る国・道返還金316万円、地域支援事業の精算による国・道交付金返還金118万円などを追加するもの。

○議案第61号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ3万円を追加し、歳入歳出の総額は3千153万円に。

いきいきふるさと常任委員会 (6月5日)

いきいきふるさと常任委員会（東海林繁幸委員長）では、第3回定例会会期中に審査を付託された議案第54号及び第56号の審査の結果、次の意見を付して、全会一致で可決しました。

【審査意見】

①町民センター渡廊下解体に際し、本来は確実な維持管理をすべきであるが、今後はライフサイクルコストを踏まえた建築を望む。

②ドリームジャンボファームの建設に際し、大型車両の通行を考え、早急な道路整備を望む。

以下は報告案件

○報告第5号 平成29年度健全化判断比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）の規定により、監査委員の意見を付して議会で報告するとともに住民に公表されるものです。

①実質赤字比率

算定なし
(基準15%)

②連結実質赤字比率

算定なし
(基準20%)

③実質公債費比率

0・3%
(基準25%)

④将来負担比率

算定なし
(基準350%)

【監査委員の審査意見】

実質公債費比率は平成22年度から早期健全化基準を下回っているが、今後とも公債費比率の通減に努め、より一層財政の健全化を図りたい。

○報告第6号 平成29年度資金不足比率の報告

審査の対象となった病院、水道、下水道会計の資金不足比率（基準20%）は、いずれも算定されない。

いきいきふるさと

常任委員会報告
(6月27日調査分)

いきいきふるさと常任委員会（東海林繁幸委員長）は、町内工事視察を実施し、その結果を第4回臨時会に報告しました。

視察場所

中頓別富桑鉱山製品工場
(字上駒 株KUWAHARA)

調査結果

貝化石を加工する機械設備、製造工程等について説明を受けたが、電気設備工事の遅れにより稼働時の粉塵、騒音等の状況が確認できなかったため、稼働後に改めて調査することとした。



富桑鉱山製品工場の視察状況

第4回臨時会結果

(7月2日)

平成30年第4回臨時会が7月2日招集され、報告1件、承認1件と2議案を原案可決しました。

○報告第4号 平成29年度介護保険事業特別会計事故繰越し繰越計算書の報告

平成29年度介護保険システム改修後のシステム誤作動等による年度内の未払いに対するもの。

○承認第4号 専決処分の承認
(一般会計補正予算 6月19日専決)

規定の歳入歳出予算額にそれぞれ173万円を追加し、歳入歳出の総額は42億3千874万円に。緊急を要する学校給食事業のエアコン修繕工事に173万円（教育費）を追加。

○議案第52号 特別職の職員の給与等に関する条例（一部改正）

介護保険事業特別会計の事務処理ミスに対する責任として7月の1か月間、給与月額100分の10を減給するもの。

○議案第53号 一般会計補正予算

規定の歳入歳出予算額にそれぞれ1千396万円を追加し、歳入歳出の総額は42億5千270万円に。

有害鳥獣捕獲報償費に277万円（農林水産業費）、コテージ外装塗装工事に398万円（商工費）、橋梁補修費に360万円（土木費）、寿野外レクリエーション施設費に37万円（教育費）を追加。

第5回臨時会結果

(8月17日)

平成30年第5回臨時会が8月17日招集され、南宗谷衛生施設組合議会議員の選挙が行われました。

諸般の報告にて議長から佐藤奈緒議員が7月31日付で辞職願が提出され、同日付で許可したことが報告されました。それに伴い、南宗谷衛生施設組合議員が1名欠けることから、直ちに補欠の組合議員を選挙する必要が生じたものです。

○選挙第3号 南宗谷衛生施設組合議会議員の選挙

議長における指名推選により、全会一致で宮崎泰宗議員が当選し、任期は、平成31年4月30日までとなります。

ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

●子どもの自立を促す学校教育について

現代の子どもは引きこもりやニートなど、自立できない子どもや将来に希望を持たない、夢を持たない子どもが多いと言われている。

子どもが自分の経験や知識から考え、判断し、対応することができなくなっているのではないかと危惧する中で、重要なのは「生きる力」と自立、自己決定力を身に付けることだと考えるが、中頓別小・中学校における子どもの自立を目指した取組みについて教育長に伺います。

答 弁 ○田邊教育長

小学校、中学校とも、子どもの自立を目指した取組として、キャリア教育があります。それぞれの発達段階に応じた基礎的・汎用的能力を教育課程の中で身に付けさせるとともに、人間関係や社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の育成に努めています。

キャリア教育は、総合的な学習の時間等を活用しています。小学校は中頓別探検隊、中学校は産業体験（1年）、職業体験（2年）、上級学校訪問（3年）を実施、保護者やお世話になった方々を対象にした成果発表会が、土曜日授業や学校祭で実施されています。

また、「運動会や学芸会、学校祭、スポーツ少年団活動や部活動、修学旅行、ハワイ英語研修」も子どもたちの自立を促す一助となっていると認識しています。



田 邊 彰 宏 教育長

東海林 繁幸 議員



質問

●障がい者の雇用促進について

公的機関としての雇用義務がありますが、わが町の雇用状況を伺います。

答 弁 ○小林町長

地方公共団体の障がい者雇用率は、一般の民間企業の障がい者雇用率を下回らない率をもって定めるとされ、平成30年4月1日から2.5%以上となっております。現在、当町では3名の方を雇用し、国から示されております計算方式により3.59%となっております。今後とも、障がい者の方の雇用に配慮していきたいと考えております。



質問

●貝化石の商品企業化について

工場は稼働しているようですが、商品の実態がまだわかりません。町としてこの状況をどこまで把握しているか伺います。

答 弁 ○小林町長

旧中頓別農業高等学校跡地を活用して新設しました「中頓別富桑鉱山製品工場」は、今年2月に工場開設に向けて工事に着手し、6月末に完成、7月10日から工場の操業を開始しているところであります。

操業後は販売に向けた試作品、商品の製造を行ってきたところですが、現在、販売するための許可手続きを行っているところであり、9月上旬には肥料等の商品について販売開始ができる見込みであると伺っております。

質問

●特別職報酬について

第2回定例会でこのことについて質問していますが、そこでは報酬額の適正な基準についても一切を審議会に委ねる、改正時期は本年度中との答弁がありました。

すでに9月となり審議会の結論はいつ頃出るのでしょうか。

答 弁 ○小林町長

平成30年第2回中頓別町議会定例会で答弁致しましたとおり、第1回特別職報酬等審議会は平成30年5月21日に開催しております。第2回審議会は6月29日に開催を行い、具体的な報酬の改正について審議頂いており、次回、第3回審議会は9月14日を予定しております。

当面のスケジュールとしましては、第3回審議会で報酬改正の協議を終え、10月開催の第4回審議会で答申という流れになると思われます。その後は、答申内容を議会にご報告し、改正が必要であれば方針を確立したいと考えております。

宮崎泰宗 議員



質問

●中頓別版DMOの設立について

DMOとは、自然・物件・食などの観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人として欧米などで広がっており、本町でも10月に一般社団法人を設立する予定とのことであるが、本町の観光振興を担う「中頓別版DMO」関連の詳細について伺う。

①敏音知地区を中心とした観光振興が想定されていると思われるが、法人の名称、社員や理事、従業員や資金等、体制は整っているのか。

②本町の観光振興における具体的な目標と目標が達成できない場合の責任

所在、また新法人に何かあった場合の責任の所在は明確になっているか。

③ピンネシリ温泉や道の駅等の収益事業の運営について、現在の指定管理者である中頓別観光開発株式会社や中頓別町観光協会との折り合いはについているのか。

④中頓別観光開発株式会社は消滅することが濃厚と思われるが、それに伴う資本金の清算等は行われるのか。

⑤中頓別町観光協会の存続と観光協会主体のイベントは今後どうなるのか。

答 弁 ○小林町長

①観光地域づくりを進める新たな法人の名称や定款をはじめ、組織体制や事業計画等については、現在検討を進めている段階であり、新たな組織の中心的存在となる専務理事の候補者は、当町の地域おこし協力隊として6月に着任したが、地域の状況や各施設の運営状況等の把握に時間を要したことから、設立に向けた作業は遅れている状況にある。

10月1日の設立というのは難しい状況にあるが、9月中に準備団体を設立したい。

②新たに策定した観光振興計画は、家族や少人数のグループに自然体験等

を提供する中で本町の魅力を伝え、交流人口や関係人口を増やすことを目的としており、現在検討している新組織の事業計画のなかでも、数値的な目標を検討しているところである。

また、一般社団法人では、社員総会が理事の任命や議決権を持つ意思決定の機関になるという規定があり、2名以上必要となる社員のうち1名は町が担い責任を負うことを想定している。

③中頓別観光開発(株)では、ピンネシリ温泉の運営に関する町からの指定管理解除について、本年5月に開催された第31期定期株主総会で提案され、株主からの承認を受けており、中頓別町観光協会については、道の駅等山村交流施設の管理運営に係る指定管理の解除について役員会等で説明し、確認されているところである。

④中頓別観光開発(株)は、新法人へ温泉の運営が移行された後、会社を清算することで本年度の定期株主総会での承認を受けており、株主総会のなかでも議論されているが、観光開発(株)として運営を行っている期間内で、これまでの損失分を清算することを前提に、現在経営努力を行っているところである。

⑤町観光協会への協力は今後も惜し

まず、たとえ観光協会が解散しても、それが原因でイベント等が無くなることは防いでいきたいと考えている。



小林 生吉 町長

質疑・質問は 要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

星川 三喜男 議員



質問

●東野町との姉妹縁組について

本町の開拓の祖の出身地である広島県大崎上島町東野との地域間交流は、協定の締結(平成2年)から約30年が経ち、転機を迎えていると考える。近年は特産品の交流だけが目立ち深化していない。人的交流を盛んにするともに協定にある友好促進に努めるべきと思うが、町長の所見を伺う。

答 弁 ○小林町長

大崎上島町(旧東野町)との交流は、青少年交流事業の実現に向けた協議を進める中で、平成元年に旧東野町で実施されました「根っから祭」に招かれ、当町から訪問団を派遣。関係者による協議を重ね、7月に小中学生を中心とする青少年交流団の派遣がスタートいたしました。翌年には東野町の町長と教育長が町開拓80周年町制施行40周年の記念式典に出席され、これを機に両町の友好と交流の一層の発展を祈念し、平成2年に姉妹縁組の協定を締結したところであります。

その後は青少年交流、町民の相互交流を毎年実施してまいりましたが、この間の合併や両町の行財政に関する見直しの中で、その交流内容もやむを得ず縮小してきた経緯があり、現在は、町民の相互交流を隔年で行っているにとどまっているところであります。今一度協定の趣旨を踏まえ、今後の交流内容につきましては大崎上島町とも十分協議を行いながら進めていきたいと考えています。



第6回臨時会結果（9月18日）

臨時会開会前、6日早朝に発生した北海道胆振東部地震で犠牲になられた方々に対し、黙祷を捧げました。臨時会では専決処分1件、定例会で審議未了の平成29年決算審査認定8件と発議1件を審議し、全て原案可決しました。

冒頭の町長行政報告で、9月6日の北海道胆振東部地震に伴う停電に対する本町の対策内容を報告しました。

○承認第5号 専決処分の承認（一般会計補正予算9月10日専決）

大崎上島町の7月豪雨災害に対する義援金として1000万円を計上するもの。

○発議第2号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献する林業・木材産業の振興を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保することなどを国に求めるもの。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

『思い出作り』

人は、生涯でどれだけ心に残る思い出をつくることができるのだろうか？思い出は、楽しい思い出、悲しい思い出、苦しい思い出、つらい思い出などたくさんあるかと思う。人生を経験すればするほど思い出は積み上げられる。

人生68歳を超え、巷では前期高齢者になってしまった。今までを振り返ってみると人は都合のいい動物であるのをつくづく感じる。今思い出されるのは楽しい思い出の方が常に優先して私の脳裏に出現する。

日本人の平均寿命80歳を超えて、一昔前を考えるとこれだけ長生きするとはだれも想像がつかなかったに違いない。そんな少子高齢化社会（時代）に生きていて、昨日まで元気だったお年寄りが、お悔やみ欄に掲載されていることが珍しくなくなった・・・と感じている今日この頃である。

決して人生を終えたのではなく、卒業したと思いたい。特に80歳を超えるとすでに卒業資格を取得していて、元氣なうちは家の周りの畑で汗を流し、公園でパークゴルフを気の合った仲間と興じている。きつと定年以前は必死になつて家族のため、社会のために奮闘していたに違いない・・・。

楽しい思い出を持っている人はたくさん幸せを感じている人だと思う。その幸せを感じるのには自分に対してではなく、他人に対して無償に施した行為に幸せを感じるという。

小さな町中頓別町だからこそ、誰もが顔の見えるおせっかいが可能だと思う。与える方も与えられる方も違和感がない素直に施し受け入れ抵抗感がないのだろう。いつまでもそんな中頓別町でありたいと思う。

（綴人 西浦 岩雄）

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、12月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

平成29年度 決算審査特別委員会



町の各会計の決算は、地方自治法の規定に基づき、監査委員の意見を付して議会に提出され、認定の可否を決めるものです。

議会は予算が適正に執行されていることを審査するとともに、住民に代わって行政効果を検証します。

当初、第3回定例会で審査する予定でしたが、自然閉会となったため急遽臨時会を招集し、全議員で構成する「決算審査特別委員会」（宮崎泰宗委員長）を設置し、平成29年度の一般会計をはじめとする8会計すべての歳入・歳出決算が認定されました。

決算審査のあらまし

一般会計はじめ、全会計の歳出総額（表1）で46億4千4百万円にのぼる平成29年度歳入・歳出決算の審査が終了しました。

一般会計の決算規模は、前年度に比べ、歳入で5億8百万円、歳出で4億7千万円減少しています。

地方交付税は、平成28年度の21億9千万円から3億2千7百万円減の18億6千3百万円となり、一般会計の歳入総額34億6千6百万円に占める割合（依存度）は約54%に達しています。交付税減少の主な要因は、基準財政収入額のうち法人税割を過大算定し、誤った数値を報告したことによるもので、次年度以降に錯誤措置額として今回の減少分が交付される対応がとられています。

実質公債費比率は前年度2・6%からさらに改善し、0・3%（表3②備考欄）まで引き下げられました。

しかし、借入金返済の割合は低ければ低いほど良く、町の収入の半分以上を占めるため、将来の不測の財政負担

実質公債費比率0・3%

基金残高15件、43億百万円に

全会計決算を認定

に備え、今後も行財政改革を進め、比率を低下させる努力を続けなければなりません。

歳入では町税、使用料等の収入未済（滞納額）が、前年度に比べ9万円減少しており、不納欠損額（町税等が徴収不能と判断された金額）が32万円となっています。

一般会計の基金では、財政調整基金をはじめとする15基金の合計で、前年度末に比べ4千4百万円減少し、43億百万円となりました。基金が減少した主な要因は、地域活性化基金4千万円が増えたものの、長寿園施設改修拡張事業基金千5百万円、公共施設整備等基金2千7百万円、地方創生基金千4百万円の取り崩しによるものです。

町全体の公債費の借入（元金）残高（表2）は、特別養護老人ホーム施設整備助成事業に2億7千5百万円を借り入れたことにより、平成29年度借入額が5億5千4百万円となり、償還額が4億7千3百万円、この結果、前年度末に比べ8千万円増加し、49億4千

8百万円になり、町民一人当たり約283万円の借金額は前年度と比較し約8万円増加しています。

特別会計への繰出金は、前年度に比べ4千万円あまり減少し、4億6千5百万円になりました。国民健康保険事業会計の医療給付費の減により2千5百万円、下水道事業会計は3百万円、国民健康保険病院が7百万円減額となったことが要因です。

特別会計の運営は、それぞれの収入によって支出を賄う独立採算が基本ですが、実態は一般会計からの繰入金によって収支のバランスを保っている大変厳しい状況であり、このことは今後も続くことが予想されます。

決算審査特別委員会では、9月18日に全議員による審査を行い、認定第9号一般会計から、認定第16号後期高齢者医療事業特別会計までの8会計の平成29年度歳入歳出決算について、全会一致で認定すべきものと決しました。

歳出総額 46億4千408万円

(表-1) 平成29年度 一般会計及び特別会計の決算状況

(単位:円)

会 計 区 分		予 算 額	決 算 額			翌年度へ繰越すべき財源
			歳 入 額	歳 出 額	差 引 額	
一 般 会 計		3,583,671,000	3,466,203,118	3,350,164,702	116,038,416	1,685,000
特別会計・公営企業会計	自動車学校事業特会	35,143,000	35,071,529	34,967,479	104,050	
	国民健康保険事業特会	337,455,000	325,248,086	296,525,707	28,722,379	
	水道事業特会	89,429,000	88,175,328	87,605,583	569,745	
	下水道事業特会	91,478,000	90,923,054	90,493,665	429,389	
	介護保険事業特会	229,676,000	224,767,682	213,480,223	11,287,459	1,906,000
	後期高齢者事業特会	27,894,000	27,599,540	27,598,646	894	
	国保病院事業 (収益的収支)	522,190,000	513,120,892	506,823,839	6,297,053	
		(資本的収支)	36,643,000	31,631,930	▲ 4,780,173	
合 計		4,953,579,000	4,802,741,159	4,644,071,947	158,669,212	3,591,000

(表-2) 公債（町債元金）借入残高の状況

(単位：千円)

区 分	平成28年度末	借入（発行）額	償還額	平成29年度末
一 般 会 計	3,885,134	540,313	399,170	4,026,277
水 道 事 業 特 別 会 計	420,530		32,239	388,291
下 水 道 事 業 特 別 会 計	474,689		40,418	434,271
国民健康保険病院事業会計	86,948	13,400	1,443	98,905
合 計	4,867,301	553,713	473,270	4,947,744

(表-3) 財務指標（普通会計）

(単位:①～③%、⑤～⑦千円)

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備 考
①経常収支比率	58.9	55.0	55.1	61.9	毎年経常的に収入される財源のうち、経常的に支出される経費の割合
②実質公債費比率 (単年度)	5.5	1.9	0.6	△ 1.6	財政健全化法による実質公債費比率は、この欄の平成27年度～29年度の3ヵ年平均で算出。平成29年度=0.3%
③実質公債費比率 (3ヵ年平均)	12.4	8.6	4.9	2.6	公債費負担適正化計画の実質公債費比率は、②の平成26年度～28年度の3ヵ年平均で算出。平成29年度=2.6%
④財政力指数	0.083	0.086	0.093	0.137	財政力の強弱を表す指標で、1以上は普通交付税の不交付団体
⑤標準財政規模	2,370,801	2,421,858	2,340,874	2,318,316	ある程度均衡の取れた行政サービスを行うために必要な一般財源の規模
⑥基準財政収入額	200,721	210,311	212,576	475,837	収入が見込まれる税金など
⑦基準財政需要額	2,215,388	2,267,493	2,217,680	2,119,953	一定の行政サービスを提供するために必要な財源

決算審査特別委員会

主な質疑

一般会計

総務費

問 宮崎委員長

宗谷バスのダイヤ改正に伴うJR最終便との接続対策を考えているか。

答 笹原総務課参事

先日の住民説明会に参加者なく、旬報等で周知する。最終便の接続については、利用者が困らないよう検討していく。

農林水産業費

問 東海林委員

森林環境税の配布により事務事業量が増えると思われるが、対応できる体制をどのように考えているか。

答 小林町長

まだ確定ではないが道にも職員の派遣協力をお願いを考え、町としても将来を担う人材の育成に努めていく。

問 星川委員

酪農振興支援事業の事業内容について、酪農家がもっと使いやすい形を検討できないか。

答 平中産業課長

本条例は今年度で4年目となる。関係機関と協議し内容を検討したい。

問 星川委員

今回の停電により酪農家も被害を受けている。この事業で発電機等の整備を検討できないか。

答 小林町長

農協からも相談を受けており、十分検討したうえで対応を考えたい。

商工費

問 星川委員

中華大学のインターンシップ事業のその後の状況と今後の構想を伺う。

答 平中産業課長

今年度は受け入れ体制が整わず見送った。中華大学と情報交換は継続しており、次年度に向け現在協議中である。

問 東海林委員

2年目ができなかった理由は何か。

答 小林町長

住環境等の整備が必要なことと、業務多忙なことで調整が付かなかった。中華大学側の評価は高く、中頓別で働きたい者がいる等成果も出ており、未来ある事業として応援願いたい。

問 星川委員

継続して事業を進めるため、必要な住宅等の確保を行政でできないか。

答 小林町長

住宅を特定してはいないが、この事業ができる環境を整えていきたい。

土木費

問 宮崎委員長

前年度にリフォームした定住促進住宅は、何カ月入居がないのか。

答 土屋建設課長

3月完成で6カ月入居がない。町外も含め募集方法を検討している。

問 宮崎委員長

応募したいが断られているような話も聞くが、その辺説明願いたい。

答 土屋建設課長

見学される方はいるが、募集要項を見直し、今後検討する。

問 宮崎委員長

町外の方が望ましいのはわかるが、早急に家賃収入を得る対応を検討すべきと思うが。

答 土屋建設課長

今後検討する。

歳入

問 東海林委員

固定資産税収入未済額の内訳は。

答 小林総務課長

殆どが町外の方で、会社の倒産や所在不明や破産等です。

問 東海林委員

不納欠損のルールはあるのか。

答 小林総務課長

5年経つと不納欠損処理となる。

特別会計

国保会計

問 東海林委員

高い水準にある医療費について、抑制は可能か伺う。

答 小林町長

国保全体の加入者の年齢補正した資料を後ほど提出する。医療費の抑制と町民の健康増進に努めたい。

決算審査特別委員会
審査意見

1. 監査委員の指摘事項について

①収入未済額の徴収に対し、滞納者の支払い能力を考慮した具体的な計画を基に、厳しい対応を求める。

②平成29年度に職員の事務のミスが多発したことに対し、今後は再発防止策に万全を期すべきである。

2. 定住促進住宅の空室解消について

入居条件に基づき、町外からの定住希望者のみではなく、町内の入居希望者の使用も検討すべきである。

議会の動き

7月

- 1日 天北厚生園開園45周年記念行事
- 2日 第4回臨時会
寿スキー場リフトリニューアル工事鋳入式
- 3日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 5日 議会広報編集特別委員会
- 14日 稚内市制施行70年・開港70年記念式典
- 20日 砂金掘体験場安全祈願祭
- 23日 中頓別神社例大祭御神輿渡御

8月

- 2日 中頓別町乳牛共進会
- 4日 北緯45度夏まつり
- 5日 北海道150年記念式典（札幌市）
町内対抗スポーツフェスティバル
- 17日 第5回臨時会
楢原民之助氏追悼慰霊祭
交通事故死亡者慰霊祭
無縁故者法要
- 20日 老人クラブ連合会会員物故者追悼法要
議会運営委員会
- 22日 議会広報研修会（札幌市）
- 24日 議会運営委員会

9月

- 1日 2018N45° 酪農祭
- 4日 長寿園敬老会
- 5日 第3回定例会（9月7日：自然閉会）
- 14日 議会運営委員会
中頓別町敬老会
- 18日 第6回臨時会
決算審査特別委員会
- 28日 交通安全町民決起大会
- 30日 町民親睦交流パークゴルフ大会

10月

- 14日 中頓別小学校学芸会
- 21日 中頓別中学校学校祭

全道町村議会議員研修会報告

7月3日、北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターで、全道から議員、事務局職員約1,800人が参加して開催されました。

はじめに、歴史家・作家の加来耕三氏が「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題し、黒船来航当時の日本の大砲は最大でも800mしか飛ばなかったが、黒船の大砲は3キロメートル以上飛び、勝手に浦賀に入ってきて江戸城に届くことがわかりパニックになった。アヘン戦争でも封建制では欧米列強の植民地化から独立を守ることができないことを示した。日本人だけが持っている英雄の条件は、人間が飛躍すること。信長の領地政策は優れたものだったのではないかなどと語られました。

続いて、日本大学法学部教授の岩井奉信氏が「現代日本政治と政局のゆくえ」と題し、日大アメフト部の問題も安倍政権の森友・加計問題も初期対応が良くなかった。公文書の書き換えは、大きな課題を残した。以前であれば政局の問題となるような案件であるが、野党の分裂があり追及にも迫力がなかった。安倍内閣の支持率が下がっても野党の支持率が上がっていない。日本憲政史上もっとも長い総理となる可能性がある。

憲法改正が必要という方は5割以上おり、緊急事態条項等の必要性は与野党間でかなり議論されたが9条の改正については与党内にもいろいろな意見があり簡単ではない。などと語られました。

（報告者：長谷川克弘）

編集後記

実りの秋から静かな冬への変わり目、自然の豊かさを改めて感じます。

今議員任期も後わずかなり、最終コーナーに入っていくところでしょうか。最後のゴールまで数多くの重要な課題をどうしていくのか、長期的な視点を持ちながら、そして、町民の皆様のご意見をいただくながら、より良い中頓別町となるよう気を引き締めて取り組んでまいります。

今回の9月定例会は、9月5日から7日までの3日間となっておりますが、9月6日早朝に発生した北海道胆振東部地震により「自然閉会」となり、9月18日招集の第6回臨時会で、平成29年度の町予算をどのように使ったかを審査する「決算審査」を行いました。通常の臨時会とは違った特色ある会議で各議員の活発な質疑が行われ、来年度の予算編成に活かせるものと思います。

広報編集特別委員会では、町民の方に議会だよりを身近に感じていただけるよう、更に、毎回届くのを楽しみにしていただけるよう、広報委員全員で取り組んで行きますので、今後とも議会活動に對しまして、町民の皆様のご意見をお寄せください。

皆様におかれましては、これから寒い季節を迎えますので、どうか健康には十分に気をつけて健やかな毎日をお送りください。

議会広報編集特別委員会（細）